

大げやき

第8号
4.11.1
文:校長

●11月のめあて

進んで学習しよう

新型コロナウイルス感染症が続いており、保護者の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけしています。収束の兆しが見えたため、延期していた「げやきフェスタ」を無事、開催することができました。お休みする児童が多く、練習が思うように進まないこともありました。コロナ禍の中の教育活動はとも困難ですが、大変な中でも、子ども達は、休んでいる友達への思いも含めて、行事を成功させようと、素晴らしい発表をしてくれました。



自分の食べた物で体ができている



九月に六年生、十月に四年生を対象に食育講座を行いました。講師の先生は、今年から喜多方学校共同調理場に着任された栄養教諭の渡部陽子先生です。六年生では、五大栄養素について、給食の献立を使って学びました。人間が生命活動を営むために必要な栄養素は、タンパク質、脂質、糖質、ビタミン、ミネラルの五つに分類できます。それらを、給食の食材をもとに分類し、役割を知り、自分たちの食生活に生かすことを学習しました。

また、四年生では、食べ物をよくかむことの学習でした。一口で三十回かむ「マスコットキャラクター」「サンマルちゃん」を使って、かむことが、食べ物のお味を良くしたり、腸や脳の働きを活性化

させるなどの七つの働きを知りました。その後、グループごとに、かむことが多くなる献立を、タブレットや料理の本を参考に、話し合って作りしました。十二月からの給食のメニューに採用されると嬉しいですね。

薬物、ダメ、ゼッタイ!



十月八日の土曜授業参観日で、五・六年生と保護者の方が薬物乱用防止教室を受けました。講師は、喜多方ライオンズクラブで専門的な研修を受けた遠藤公一さんです。

近年、特に若者の間で薬物乱用の怖さに対する認識が低い傾向が見られ、ちよつとした好奇心や遊び心から一回くらいならと使用するケースが少なくないそうです。しかし、麻薬や覚醒剤などの薬物は、一度だけのつもりが薬物

依存となり、一度しかない人生を台無しにしてしまいます。また、子ども達を狙った事件も起きています。そのため、近年は小学生から薬物の種類や心身への影響など、基本的な知識を学ぶようになりました。

また、もし薬物の誘いがあたらどう断つたらいいかをもえました。「私はしない」「自分の健康と命を守りたいからやらない」と、NOの意志をしっかりと示すことが大事だと学びました。

黄金色に輝く稲の収穫に沸く



九月二十九日、秋晴れの日に、五年生が稲刈りを行いました。五月末の田植えては、水田にゆらゆらと揺れる小さく弱弱しい苗でした。しかし、四か月が過ぎ、八十cm位に伸び、株を増やし、太くたくましく成長していました。子どもたちは、首を垂れるほどのたくさんの実をつけた稲を、片手でぎゅつと握り、鎌でザクザクッと心地よい音を立てながら上手に刈り取っていました。

刈り取った稲は、束ねて根本の方をひもで縛り、竿に干しました。天日干し(はざかけ)は、昭和の田園ではよく見る光景でしたが、今は少なくなりました。一週間位自然に乾燥させることで、旨味が増すとも言われています。手間暇のかかる大変な作業でしたが、主食のお米について知る貴重な体験ができました。農業科の支援員の先生方、本当にありがとうございました。

養護助教諭の紹介

十月十二日から宮田養護助教諭の産休補充として、渡部久依先生が着任さ

れました。養護としての勤務は初めてですが、小学校で特別支援の担任の経験があります。児童の健康教育を始め、けがの対応や保健室の経営など、精一杯行っていく予定です。保護者の皆様もどうぞ、宜しくお願いします。



十一月の主な行事予定

- 校内マラソン大会 四日(金)
- 児童集会(ボランティア活動) 四日(金)
- 児童との教育相談 七日〜十八日
- *七日、八日は特別時程です。
- ナッジワークショップ(四〜六年) 十日(木)
- 職員会議(特別) 十四日(月)
- ブラッシング指導(六年) 十七日(木)
- 児童集会(飼育栽培) 十八日(金)
- 口座振替 二十八日(月)
- 喜多方市学力テスト(国語) 二十九日(火)
- 喜多方市学力テスト(算数) 三十日(水)

へ松山小学校ホームページの閲覧を「喜多方市ポータルサイト」から、松山小学校のHPが紹介されています。日々更新されています。学校の様子がよくわかりますので、ぜひ毎日閲覧してください。

